

第7期中期経営計画 (計画期間2014～2016年度)

名称

東海ろうきん第7期中期経営計画

**DREAM** ～働く人の夢ある明日を創造する～

位置づけ

「オール・ワンシステム」移行効果(効率性・生産性向上)を発揮させながら、「東海ろうきん長期ビジョン」実現に向け、経営基盤の足場を着実に固めつつ、会員とともに勤労者の夢ある明日を創造していくための3年間とし、当金庫の信頼度・存在感・親近感を高めます。

DREAM

基本戦略

**Defense, zero-Defects** (守り)

我慢の経営、ミスの根絶

**Responsible** (責任、信頼)

お客様保護、信頼度向上

**Educate** (教育)

OJT、キャリアプランメニュー

**Action** (活動的) **Aggressive** (積極的)

攻めの営業、事務員からセールスパーソンへ

**Motivation** (やる気)

働きがい、自己実現



2015年度 事業計画

**POLICY** 『働く人の夢ある明日を創造する』ために私たちは実践します。

2015年度は、リテール分野における厳しい競争に打ち勝ち、今後も「働く人たちの暮らしと財産を守り、身近で頼られる金融機関」であり続けるため、第7期中期経営計画を早期に軌道に乗せる「飛躍の年」と位置付け、会員・推進機構との協働・連携強化を推し進めるとともに、オール・ワンシステムの機能・能力を十分に活用した事務・業務改革を実践し、高品質な金融サービスの提供を持続可能とするための原資を安定的に確保できる強靱な経営体質の確立を目指します。また、それを下支えする内部管理の充実・強化、コンプライアンス態勢の強化、財務の健全性の維持・確保、人材育成等についても、役職員が一丸となって全力で取り組みます。

**経済金融環境** ●金融緩和策は継続、市場金利は低水準で推移  
●消費税増税延期と経済対策の効果が期待される

**営業管内環境** ●少子高齢化の進展、非正規雇用者の増加  
●競合他行との競争はさらに熾烈さを増す

経営方針I

大いなる飛躍を遂げることで、第7期中期経営計画を早期に軌道に乗せ、強靱な経営体質を確立する。

経営方針II

オール・ワンシステムを早期に定着させ、事務改革・効率化を促進し、会員・お客様に利便性や成果を実感していただく。

経営方針III

優良で堅確な業務を遂行するためのPDCAを繰り返し、コンプライアンス態勢、内部管理態勢の充実・強化を図る。

■預金増加額 380億円  
■融資増加額 270億円

■当期純利益 25億円  
■OHR 80%以下

明確な営業戦略の立案・実践

- 会員・推進機構との協働・連携
- 各種セミナーの充実・拡充
- 退職金獲得策・生涯取引の拡大
- ターゲットと戦術のマッチング

顧客との接点の質・量の向上

- チャネル・ローコスト商品の拡充
- ATMの効率的再配置・稼働率UP
- 個人営業体制の強化(ろうきんFC)
- リテール力(商品力・提案力・CS)の向上

事務の省力化・標準化・堅確化

- 一連の業務のマニュアル化
- 事務・業務フローのスリム化
- 事務量測定・事務標準時間の設定
- 事務コストの削減

経営・財務基盤の確保

- 貸出金・資金運用利権圧縮への対応
- 物件費削減への取り組みの継続
- 労働生産性の向上

内部・リスク管理態勢の強化

- コーポレートガバナンス・法令等遵守態勢の強化
- 統合的リスク管理態勢の強化
- 内部統制の適切性確保・監査機能の充実